

Solan Primary School  
4th grade news letter

# Venture Fourth

2023. Nov. 1

## 点火のワケを考えよう



今朝のマイタイムの一枚。

撮影は水野くん、被写体は森くんです。

現在、強歩会に向けての体力づくりの一環として、全校で「ジョギング週間」の取り組みが始まっています。

中休みや昼休みに軽快な音楽がかかり、グラウンドの一角を使って多くの子どもたちが自分のペースで走っています。

4-1の子たちも、そこに大勢参加しています。

いえ、参加しているというより「引っ張っている」という方が表現として

は正しいかもしれません。

なんせ、全ての休み時間をジョギングに使っている子たちもいるほどだからです。

おそらく、多くの子は「2～3週走ってから自分の好きな遊びで遊ぼう」となっているはずです。

しかし、4-1の先頭集団は違います。

明らかに、「走りに」グラウンドに出ていっているからです。

休み時間が始まる直前、その子たちは時計とにらめっこを始めます。

13:15から昼休みが始まるならば、13分くらいから既に足踏みしながら待ち始めるわけです。

そして、15分に表示が変わった瞬間にグラウンドに駆けだしていきます。とびっきりの笑顔で。

そして、時間の間爽快に走り続けているのです。

それが、ついにマイタイムにも波及し始めました。

私が今朝教室につくと、すでに多くの子たちの姿がありません。

どこに行ったのかと見渡すと、グラウンドを駆けているのです。

中には、裸足で走っている子たちもいます。

爽やかな汗をかきながら、朝、ずっと走っているのです。

こういう状態を「心に火がついている」といいます。

やる気の炎が循環している状態です。

と、ここまで読んだ方の中には、次のようなことを考えた方がいるかもしれません。

「いったいなぜこのような状態になるのか？」と。

やっていることは、シンプルに「走ること」です。

当然長く走ると体は疲れます。

息も上がるし、汗も出てきます。

それでも、その子たちは嬉々として走り続けるのです。

それは一体なぜなのか。

次号を読む前にぜひ一度考えてみてください。

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcipcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

